

平成 26 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若澤寺史跡現地整備事業
事業主体 (連絡先)	若澤寺史跡保存会 松本市 波田 4530
事業区分	(5) 環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	5,245,094円 (うち支援金: 3,407,000円)

事業内容

地域が誇れる貴重な史跡を、荒廃させることなく後世に伝承するために、現地整備事業及び地域住民を取り込む啓発活動を実施。

- ・支障立木の伐採 (建設当時の更地化) 7月～翌年1月
- ・見学、視察者の利便性の向上 (案内表示板等の設置及パンフレットの作成) 7月～12月
- ・資料整備 (石碑の拓本採取) 7月～10月
- ・講演会、勉強会、現地見学会の開催。4月～12月



支障木伐採完了

事業効果

- ①昨年に続き支援金を活用して、史跡内の植林された立木を伐採更地化したことで、建設当時の大寺院跡が出現し景観が一新した。また、史跡利用者のために、案内道標、説明板等の設置、パンフレットの作成により利便性を向上させた。
- ②石碑の拓本は、文化祭等に展示して若澤寺史跡のPR、啓発活動の貴重な資料になった。
- ③知名度の向上とともに関心を持つ人が増加し、若澤寺史跡保存会会員が7名増加し114名となった。

今後の取り組み

支障木の伐採完了により草刈り等の作業が容易になり、埋もれた礎石等の露出もし易くなった。反面草木の急速な繁茂が予想され作業回数が増加するものと思われるが、環境整備は継続し、波田地区の誇りであるこの貴重な文化財を後世に伝え残す活動を続ける。

【目標・ねらい】

- ①史跡内の主要施設跡地の建設当時を出現させる更地化
- ②見学者の利便性を図る標識の設置
- ③史跡保存会の会員及び史跡見学者の増加

※自己評価 (A)

【理由】

- ・ 建立当時の壮大な敷地が見渡せ、景観が一新した。
- ・ 表示板の設置、パンフレットの常設により利便性の著しい向上。
- ・ 史跡保存会会員の7名増加。

※ 1 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある